

## 日本共産党宇治市会議員団

# 議会報告・要求懇談会を開催

党議員団は4月12日（金）、ゆめりあうじにて議会報告・要求懇談会を開催しました。

開会に当たって宮本繁夫団長が、岸田首相が進める「戦争できる国づくり」を批判。宇治市政では、小中一貫校、公民館、「こども誰でも通園制度」などの状況を紹介し

いさつしました。

水谷修府会議員があいさつを兼ね府政報告。府が進めていた府立大学への1万人アリーナ計画を、住民・府立大学生の頑張り、党も一緒に取り組み撤回させたことなどを報告しました。

## 暮らし生業が大変でも負担増の予算 防災は最大震度7に見直しを

その後、市長が提出した新年度予算を中心に3月定例会の様子を報告しました。

物価高騰で市民の暮らしも生業も大変ななかで、国民健康保険料の10.89%値上げ。介護保険料も4.1%値上げ。後期高齢者医療保険も7.8%値上げなど、市民への負担増が相次いでいます。

一方で万博関連予算1.5億円、天ヶ瀬ダム直下の公園整備設計予算約3千万円など暮らし後回しの予算となっています。

党議員団は国保料について、値

上げせず前年度と同様に据え置く修正案を提出しましたが、うじ未来（立憲・国民・無所属）、自民、公明、宇治党・蒼の会、維新が修正案に反対、市長提出予算に賛成し、値上げも含めて予算が可決されたことをなどを報告しました。

また、最大深度7の能登半島地震を教訓に、震度7を想定した宇治市防災計画の見直しを行うことを提案。消防や水道の広域化による対応や復旧の遅れなどを示し、京都府による広域化を止めるよう追及したことなどを報告しました。

# 「市の耐震化率は？」「水道広域化駄目だと思う」「他の議員は、公民館請願に理由も言わず反対したが憤りと怒りを感じる」など参加の市民の方から多数の意見や質問が出される

参加者から「能登の友達の所は、いまだ水道が復旧していない。水道広域化は駄目だ」、「東京杉並区で区長が変わり、児童館廃止の方針が転換された。宇治では公民館も集会所も減らす方針。これでは地域活性化は難しいのではないか」「共産党の国保料据え置き修正案に、他の議員は意見も述べず反対された。もう払えないレベルの保険料。今後は値下げも含めて払える保険料へ頑張って欲しい」「市立図書館の蔵書数の増加を」、「買物や通院などの移動手段問題。

市は困っている人の事を考えて欲しい」、「市民が声を上げて要望してきた学校体育館へのエアコン設置が実現した。確信にしたい」、「公民館の請願が賛成多数で不採択。憤りと怒りを感じる」、耐震化の補助金など多数の意見や質問が出されました。宇治市の耐震化率や耐震化の補助制度はどうなっていますか」など多くの質問や意見が出されました。

党議員団は、懇談で出された意見など市民の要求実現を目指し、議会論戦など全力をあげます。



開会の挨拶を行う宮本議員団長(中央)  
左から谷上、大河、水谷府議、宮本、坂本、徳永、山崎の各議員

